

# 3月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	3,570	85	3,322	282	104	286	0	0	静岡の「青島」「寿太郎」中心に、香川産貯蔵物が入る。前年の気象災害が影響して入荷量は前年を下回るが、価格は晩生品種の食味が良く前年を上回る見込み。
りんご類	6,017	110	6,556	294	103	274	10	0	青森産が殆んど。CA物に切り替わりの時期。貯蔵物は入荷量が前年を上回っているが、輸出が増えていることもあり、産地の価格が堅調になる傾向にある。CA貯蔵で原価もあがり、価格は高値だった前年に近い水準まで高まる見込み。
いちご類	6,008	100	5,284	968	107	989	0	0	栃木、福岡、佐賀、静岡産中心の入荷となる。2月は低温・日照不足で数量伸び悩み、品薄感もあり堅調な価格での販売だった。今後2、3番果への切り替えとなるが、生育のバラつきからただらとした流れが予想される。3月中旬からは入荷量増えるが、量販などの売り場も拡大し、荷動きは活発化する見込み。